

群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門 教員公募

1. 職 名 助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 知能機械創製部門
(理工学部 電子・機械類 機械プログラム)
4. 業務内容 研 究
熱力学・流体力学に軸足を置きつつも、人工知能 (AI)・ビッグデータ・IoT 等を活用・融合した地球規模での炭素の大循環を体系的かつ学術的に研究する分野
教 育
・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・ 担当授業科目
(学部) 熱力学・流体力学に関する専門科目、機械実習、機械製図Ⅰ・Ⅱ、機械実験Ⅰ・Ⅱ、専門英語Ⅰ・Ⅱ、課題発見セミナー、課題解決セミナー等
(大学院) 採用者の専門に近接する研究テーマを持つ教授、准教授と協力し、大学院生の研究指導補助にあたる。
管理運営・社会貢献
・ 理工学部・理工学府の管理運営に関する業務
・ 理工学部・理工学府が進める高校生向け科学体験イベント等への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
あるいは、太田市本町 29-1 太田キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 4 年 4 月 1 日 (以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：工学
小分類：機械工学
9. 任 期 5 年
再任 (5 年) 1 回まで可。任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は

任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 博士の学位を有する方。あるいは着任までに取得予定の方。
 - (2) 脱炭素社会への大転換を見据え、熱力学・流体力学に軸足を置きつつも、人工知能 (AI)・ビッグデータ・IoT 等を活用・融合した地球規模での炭素の大循環を体系的かつ学術的に研究する意欲のある方。
 - (3) 再生可能エネルギー・バイオマス・エネルギーキャリア (水素・アンモニアなど)・エネルギー変換・熱マネジメント・伝熱・資源循環・スマートグリッド・二酸化炭素回収等の脱炭素社会に向けた世界的レベルの研究を推進できる方。
 - (4) 国内外の研究組織や学内各種センターなどの組織的な研究体制を構築・活用し、地域産業構造のニーズを踏まえた産官学連携を積極的に推進できる方。
 - (5) 脱炭素社会実現という地球規模課題の克服に向けた電子・機械類の教育に熱意を有する方。
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
2号年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8:30~17:15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日~1月3日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙 (ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)

17. 応募締切 令和4年1月21日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
(2) 教育研究業績書(本学所定様式)
(3) 科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) 査読付き学術論文5編以内の別刷りまたはコピー
(5) これまでの研究概要(1000字程度)
(6) 研究、教育および地域貢献に関する抱負(1000字程度)
19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門 半谷 禎彦
簡易書留にて「知能機械創製部門助教(脱炭素社会)応募書類」と朱書きの
うえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。
20. 選考内容 書類選考の後、必要に応じて面接を行います。
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担
21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門 半谷 禎彦
電話:0277-30-1554
e-mail: hanhan(\$)\$gunma-u. ac. jp (\$)\$は@に置き換えてください。
22. その他
(1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
(2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
(3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
(4) 適任者が得られない場合には、再度公募することがあります。